

守山市
男女共同参画に関する市民意識調査
報告書

令和7（2025）年3月

守山市

目 次

I. 調査概要	1
1 調査の概要	1
2 回答者の属性	2
II. 調査の結果	11
1 家庭生活について	11
2 職業生活について	30
3 地域・社会活動など仕事以外の活動について	42
4 防災について	54
5 セクハラ・DVについて	57
6 女性への支援について	78
7 男女平等意識について	88
8 そのほかのことについて	106
III. 自由回答記述について	123
IV. 考察	124
付録 調査票	

I. 調査概要

1 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、市民意識や男女共同参画についてのこれまでの取り組みの成果や実態を把握し、今後の施策検討の基礎資料とすることを目的として行った。

1.2 調査の方法

- (1) 調査地域：守山市全域
- (2) 調査対象：令和6年4月1日現在、住民基本台帳に登録のある満18歳以上の市民
- (3) 標本数：上記対象から無作為に抽出した2,000人
- (4) 調査方法：郵送による配布、郵送・インターネット回答の併用、無記名方式
- (5) 調査期間：令和6年7月1日（月）～7月22日（月）

1.3 発送・回収状況

市域全域に、18歳以上の住民の約3%である2,000票（男性1,000人、女性1,000人）を発送した。そのうち回答が寄せられたのは450票（郵送：275票、インターネット：175票）、回収率は22.5%であった。

1.4 アンケート調査結果集計時の留意事項

- ①設問ごとの有効回答数は「n=〇」と表示しており、回答比率はこれを100%として算出している。
- ②本報告書の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ③複数回答の設問については、回答数を母数として算出している。
- ④学区別や職業別に集計結果を考察する場合、構成比が小さくなっている学区や職業に関しては、統計的に誤差が大きくなることを考慮しなければならない。

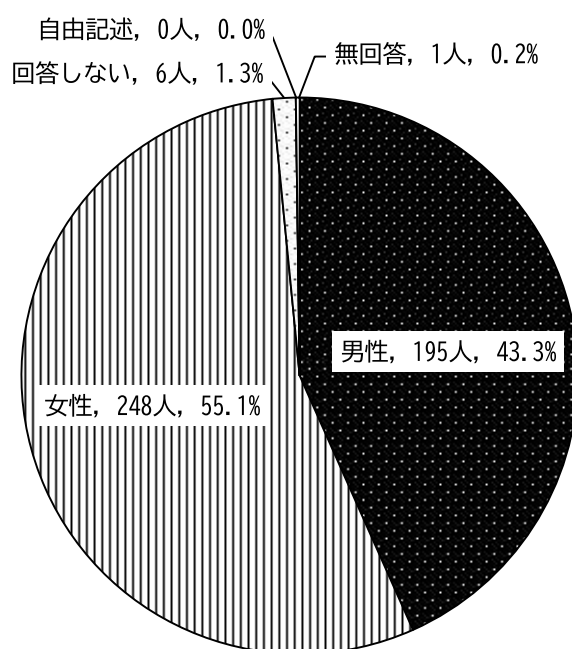
2 回答者の属性

2.1 性別

回答者の性別は、男性 195人（43.3%）、女性 248人（55.1%）で女性が多くなっている。

表 2.1 性別構成

	回答数	構成比
男性	195人	43.3%
女性	248人	55.1%
回答しない	6人	1.3%
自由記述	0人	0.0%
無回答	1人	0.2%
合計	450人	100.0%



(n=450)

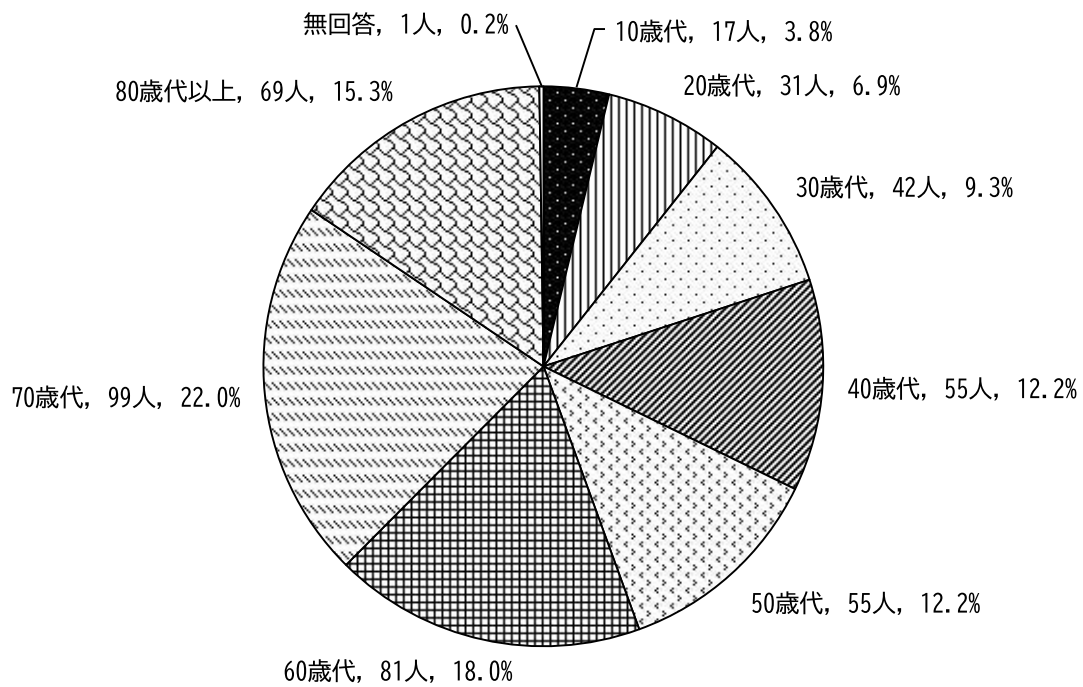
図 2.1 性別構成

2.2 年齢

回答者の年齢は「70歳代」が 22.0%と最も多く、次に「60歳代」が 18.0%、「80歳代以上」が 15.3%、「50歳代」「40歳代」が同率で 12.2%、「30歳代」が 9.3%となっている。

表 2.2 年齢構成

	回答数	構成比
10歳代	17人	3.8%
20歳代	31人	6.9%
30歳代	42人	9.3%
40歳代	55人	12.2%
50歳代	55人	12.2%
60歳代	81人	18.0%
70歳代	99人	22.0%
80歳代以上	69人	15.3%
無回答	1人	0.2%
合計	450人	100.0%



(n=450)

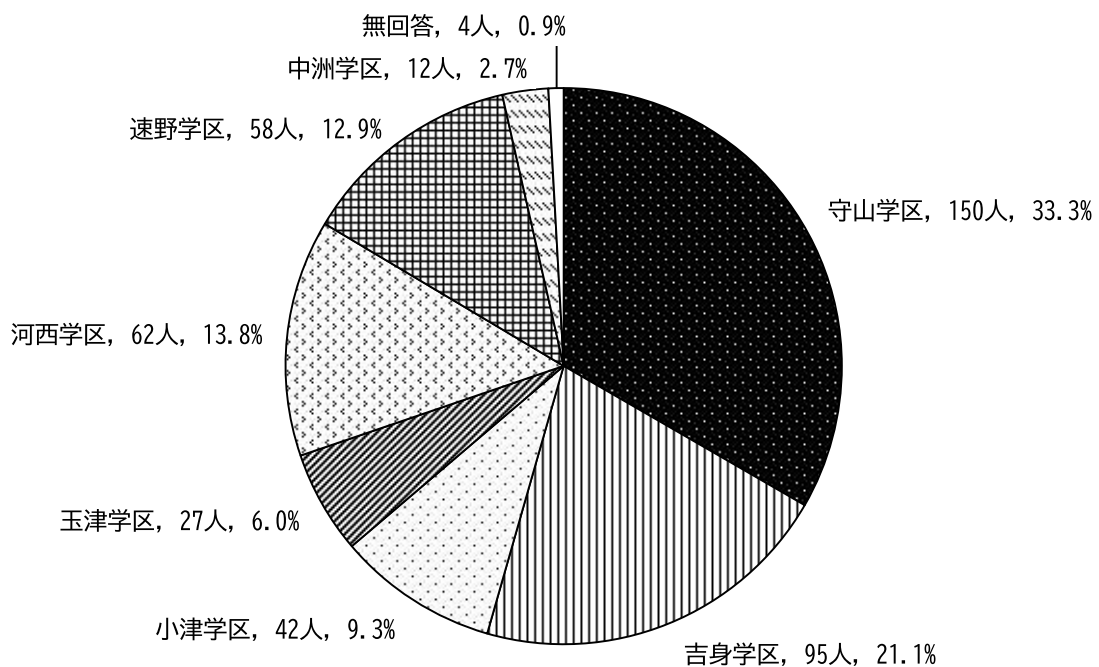
図 2.2 年齢構成

2.3 居住学区

回答者の居住学区は「守山学区」が最も多く 33.3%、次に「吉身学区」が 21.1%、「河西学区」が 13.8%、「速野学区」が 12.9%であった。概ね学区ごとの人口比率に応じた回答数であった。

表 2.3 居住学区構成

	回答数	構成比
守山学区	150人	33.3%
吉身学区	95人	21.1%
小津学区	42人	9.3%
玉津学区	27人	6.0%
河西学区	62人	13.8%
速野学区	58人	12.9%
中洲学区	12人	2.7%
無回答	4人	0.9%
合計	450人	100.0%



(n=450)

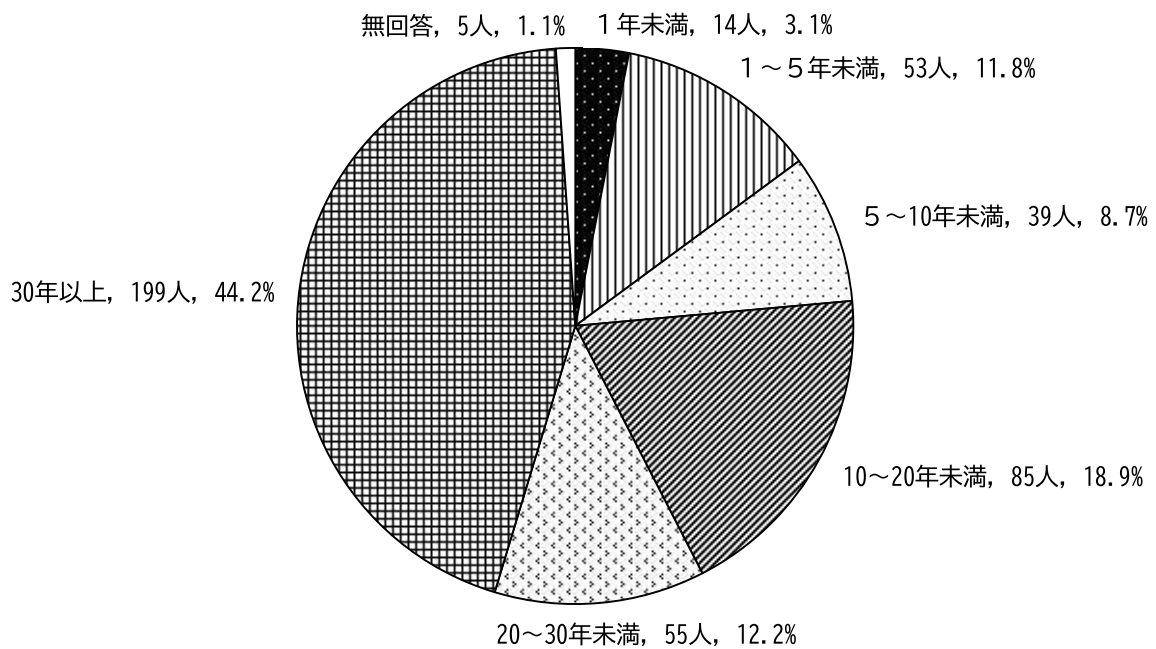
図 2.3 居住学区構成

2.4 居住年数

回答者の居住年数は「30年以上」が最も多く 44.2%、次に「10～20年未満」が 18.9%、「20～30年未満」が 12.2%であった。

表 2.4 居住年数構成

	回答数	構成比
1年未満	14人	3.1%
1～5年未満	53人	11.8%
5～10年未満	39人	8.7%
10～20年未満	85人	18.9%
20～30年未満	55人	12.2%
30年以上	199人	44.2%
無回答	5人	1.1%
合計	450人	100.0%



(n=450)

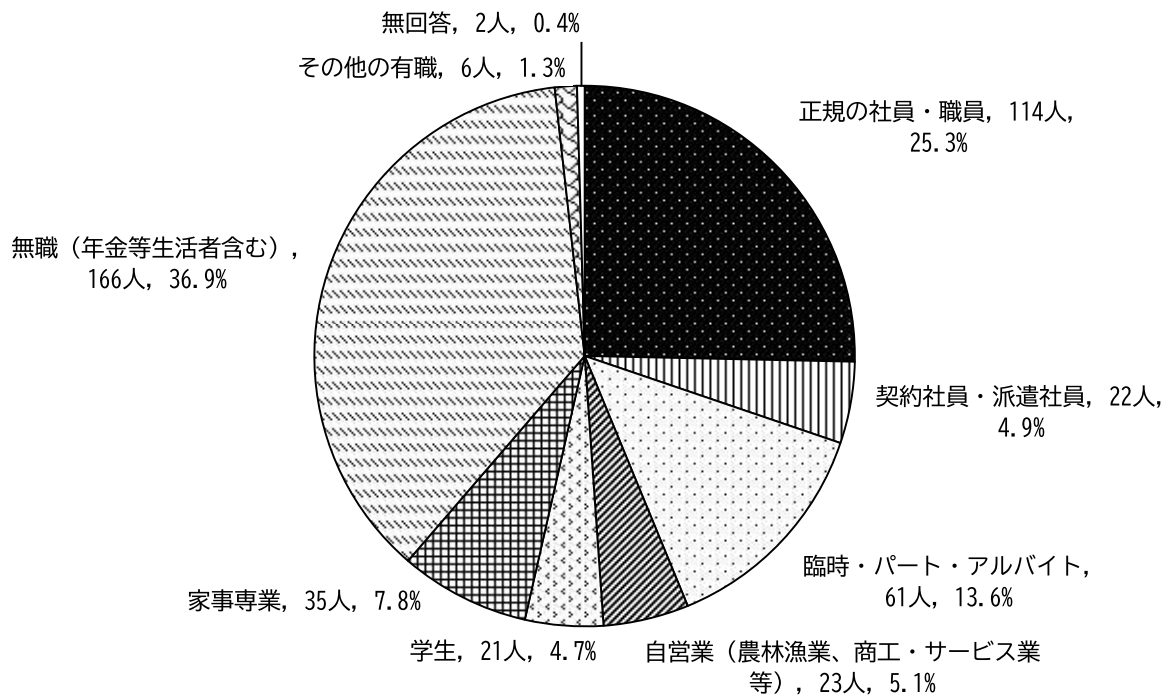
図 2.4 居住年数構成

2.5 職業

回答者の職業は「無職（年金等生活者含む）」が最も多く 36.9%、次に「正規の社員・職員」が 25.3%、「臨時・パート・アルバイト」が 13.6%、「家事専業」が 7.8%であった。「無職」の割合が高いのは、60歳代以上の回答者の割合が 55.3%と半数以上を占めているのが要因の一つと考えられる。

表 2.5 職業構成

	回答数	構成比
正規の社員・職員	114人	25.3%
契約社員・派遣社員	22人	4.9%
臨時・パート・アルバイト	61人	13.6%
自営業（農林漁業、商工・サービス業等）	23人	5.1%
学生	21人	4.7%
家事専業	35人	7.8%
無職（年金等生活者含む）	166人	36.9%
その他の有職	6人	1.3%
無回答	2人	0.4%
合計	450人	100.0%



(n=450)

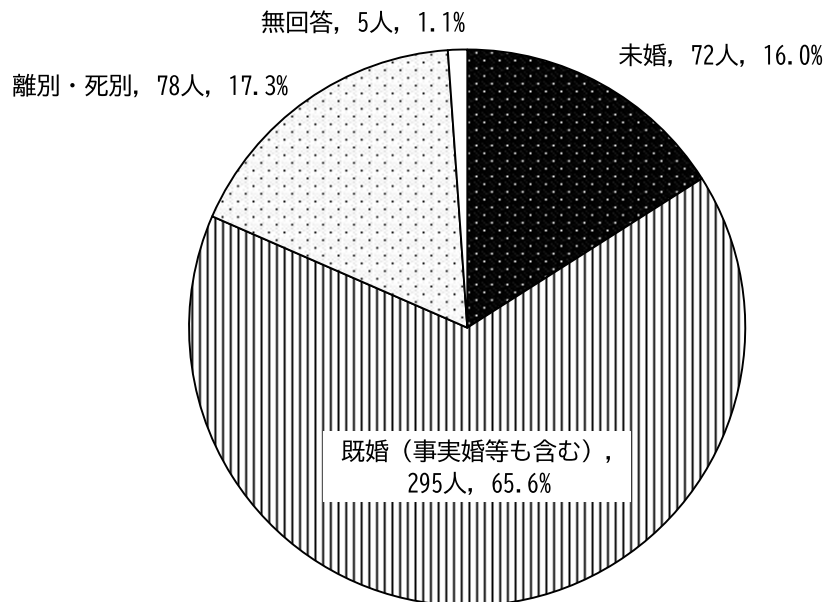
図 2.5 職業構成

2.6 未婚・既婚別

「未婚」は 16.0%、「既婚（事実婚等も含む）」は 65.6%、「離別・死別」は 17.3%であった。

表 2.6 未婚・既婚別構成

	回答数	構成比
未婚	72人	16.0%
既婚（事実婚等も含む）	295人	65.6%
離別・死別	78人	17.3%
無回答	5人	1.1%
合計	450人	100.0%



(n=450)

図 2.6 未婚・既婚別構成

2.7 配偶者・パートナーの職業

回答者の配偶者・パートナー（「既婚」と答えた方のみ）の職業は「無職（年金等生活者含む）」が最も多く 34.6%、次に「正規の社員・職員」が 32.5%、「臨時・パート・アルバイト」が 14.2%、「家事専業」が 6.1%であった。

表 2.7 配偶者・パートナーの職業構成

	回答数	構成比
正規の社員・職員	96人	32.5%
契約社員・派遣社員	13人	4.4%
臨時・パート・アルバイト	42人	14.2%
自営業（農林漁業、商工・サービス業等）	13人	4.4%
学生	0人	0.0%
家事専業	18人	6.1%
無職（年金等生活者含む）	102人	34.6%
その他の有職	4人	1.4%
無回答	7人	2.4%
合計	295人	100.0%

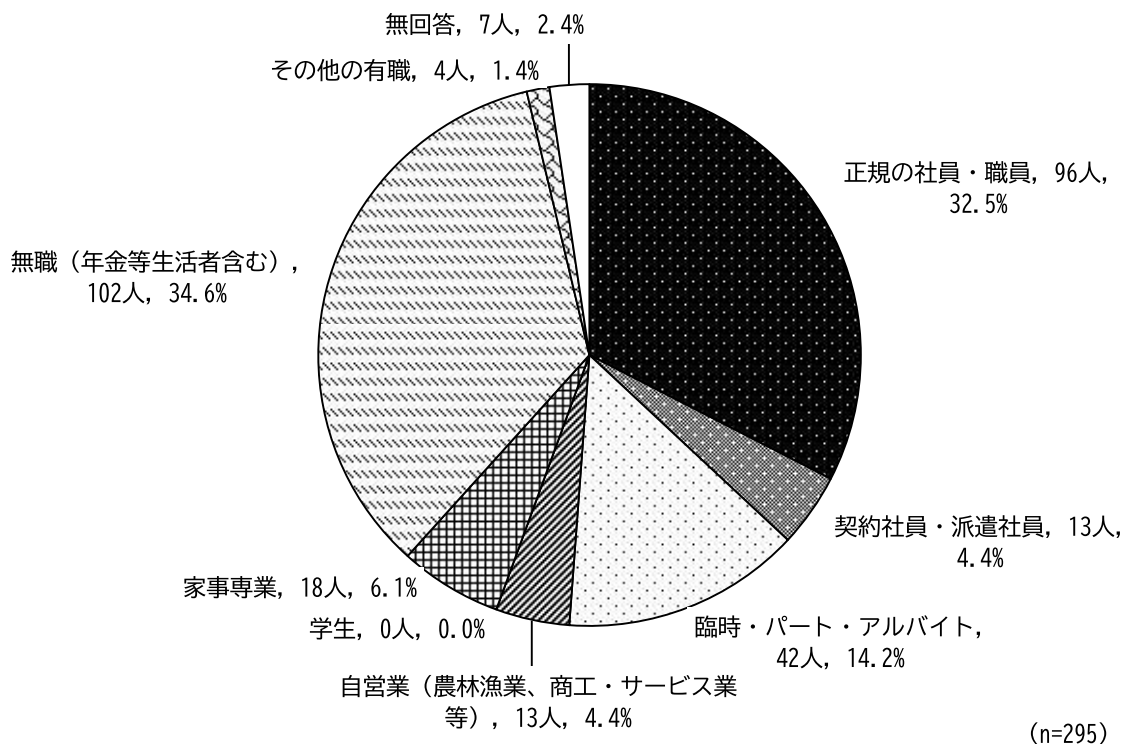


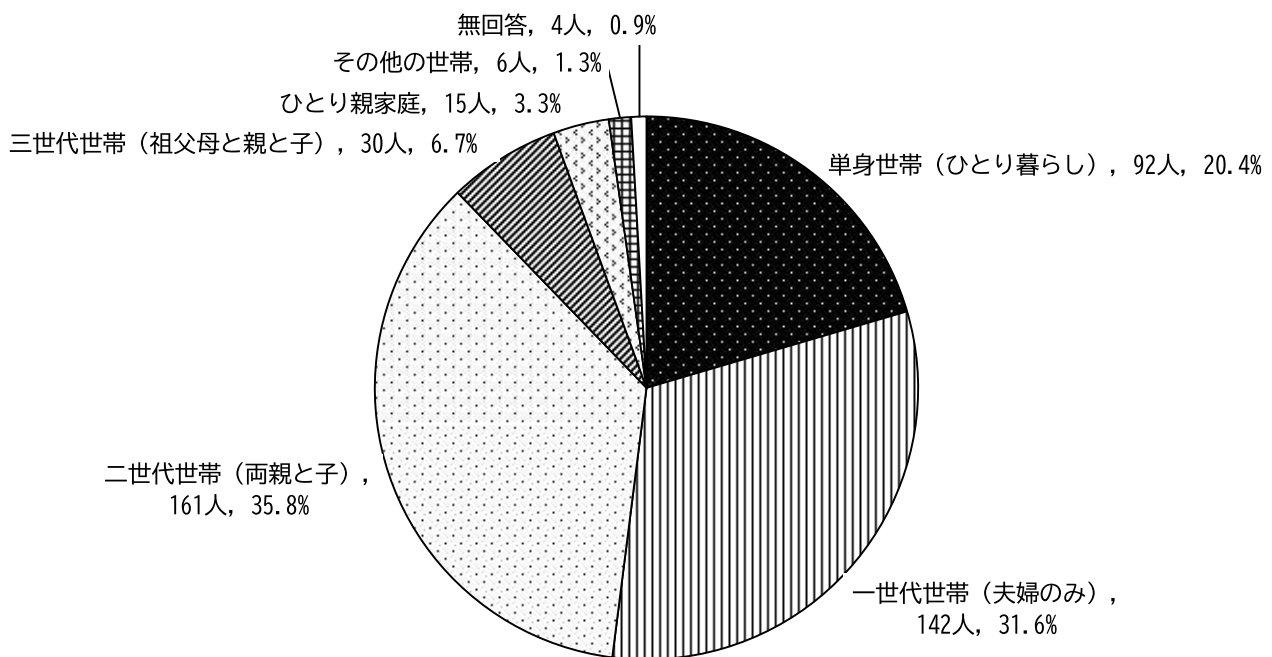
図 2.7 配偶者・パートナーの職業構成

2.8 家族構成

回答者の家族構成は「二世世代世帯（両親と子）」が最も多く 35.8%、次に「一世代世帯（夫婦のみ）」が 31.6%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が 20.4%であった。

表 2.8 家族構成

	回答数	構成比
単身世帯（ひとり暮らし）	92人	20.4%
一世代世帯（夫婦のみ）	142人	31.6%
二世世代世帯（両親と子）	161人	35.8%
三世代世帯（祖父母と親と子）	30人	6.7%
ひとり親家庭	15人	3.3%
その他の世帯	6人	1.3%
無回答	4人	0.9%
合計	450人	100.0%



(n=450)

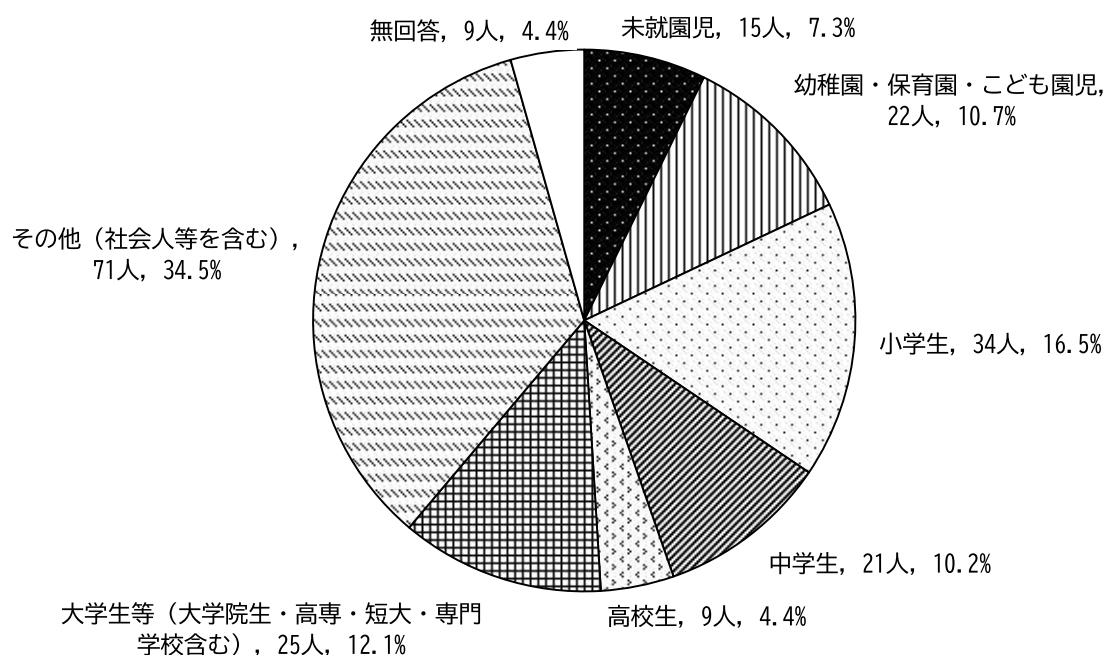
図 2.8 家族構成

2.9 最年少の子ども

回答者の最年少の子ども（「二世世代世帯（両親と子）」、「三世世代世帯（祖父母と親と子）」、「ひとり親家庭」と答えた方のみ）は「その他（社会人等を含む）」が最も多く 34.5%、次に「小学生」が 16.5%、「大学生等（大学院生・高専・短大・専門学校含む）」が 12.1%、「幼稚園・保育園・こども園児」が 10.7%であった。

表 2.9 最年少の子どもの構成

	回答数	構成比
未就園児	15人	7.3%
幼稚園・保育園・こども園児	22人	10.7%
小学生	34人	16.5%
中学生	21人	10.2%
高校生	9人	4.4%
大学生等（大学院生・高専・短大・専門学校含む）	25人	12.1%
その他（社会人等を含む）	71人	34.5%
無回答	9人	4.4%
合計	206人	100.0%



(n=206)

図 2.9 最年少の子どもの構成